



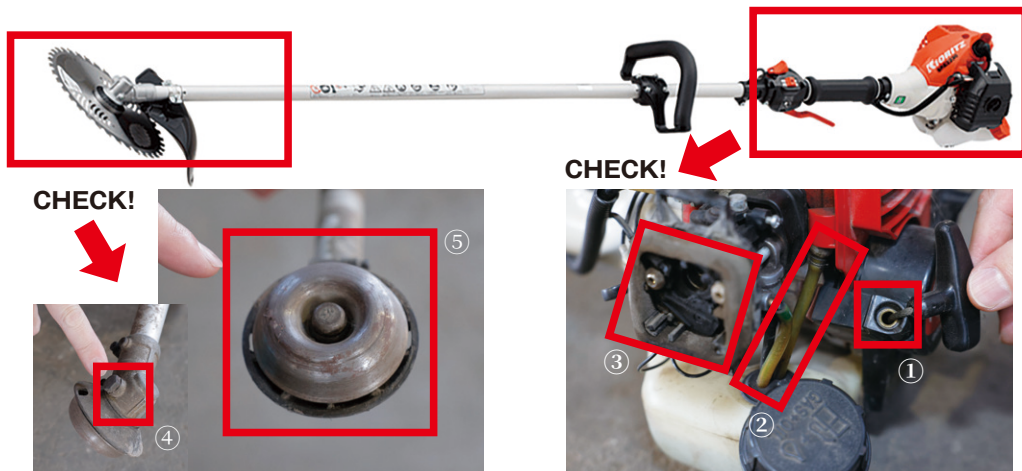
農業機械課  
深澤 芳朝

# 春の農業機械自主点検

四季の営農ワンポイントアドバイス

## 刈払機

今回は、家庭菜園などで利用する機会の多い「刈払機」や「管理機」そして、これからの果樹のシーズンに使うスプレーヤー（以下SS）の自主点検をご紹介します。



- ① リコイルスターターやロープ、周辺の汚れや動きを確認します。
- ② 燃料チューブをチェックします。チューブの劣化により始動不良を起こします。指で押し、燃料が漏れるようであれば交換の目安です。
- ③ エアクリーナーケースのカバーをあけてチェック。  
エレメントが汚れているとエンジンの出力低下や始動不良を起こします。新しいエレメントに交換するか清掃を行います。
- ④ ギヤケースの点検  
作業中に、刃物軸にビニールひもやゴミが詰まっていると故障に繋がります。ゴミを取り除き注油ボルトを外し刈払機用耐熱グリスを使用しましょう。
- ⑤ 刈刃の交換  
コンビボックススパナを使い六角ボルト（左ネジ）、六角ネット（左ネジ）を外し交換します。  
刈刃は、商品名などがプリントされている面が上になるように交換します。

## 管理機

## スプレーヤー



- ① 耕運爪の確認  
爪が摩耗・損傷しているとエンジンに負荷がかかります。消耗の激しい部分なので、取り付け部分がガタガタしていないかもあわせて確認します。
- ② 空気圧の確認  
爪やエンジンオイルの確認はまめに行う方が多いですが、空気圧は見落としがちです。
- ① エンジン系統の確認  
エンジンオイルの確認と、バッテリープラグのサビを確認します
- ② 噴霧部の確認  
噴射口の根詰まりや給水管ホース周りの点検
- ▲ 噴射口
- ▲ 給水部分の割れがあるとうゴミを吸い上げるため故障につながる

自主点検を行いメンテナンスを行う事で、機械の故障を防ぎ、作業も円滑に進みます。  
また、個人でメンテナンスや修理が難しい場合もあるかと思います。農業機械に関する修理や疑問点については農業機械課までお気軽にご連絡ください。

問 農業機械課 24-3181